



株式会社ケアサービス

2021年3月期第2四半期決算説明会

2020年11月26日

イベント概要

[企業名]	株式会社ケアサービス
[企業 ID]	2425
[イベント言語]	JPN
[イベント種類]	決算説明会
[イベント名]	2021 年 3 月期第 2 四半期決算説明会
[決算期]	2020 年度 第 2 四半期
[日程]	2020 年 11 月 26 日
[ページ数]	25
[時間]	11:00 – 11:25 (合計：25 分、登壇：18 分、質疑応答：7 分)
[開催場所]	103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 2-6-1 日経茅場町別館 B1 (日本証券アナリスト協会主催)
[会場面積]	238 m ²
[出席人数]	25 名
[登壇者]	4 名 代表取締役社長 福原 俊晴 (以下、福原) 常務取締役 富澤 政信 (以下、富澤)

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

取締役 渡辺 桂 (以下、渡辺)
取締役 三浦 裕二 (以下、三浦)

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



登壇

司会：それでは定刻でございますので、ただ今から株式会社ケアサービス様の 2021 年 3 月期第 2 四半期決算説明会を開催いたします。最初に会社様からお迎えしてございます、4 名様をご紹介申し上げます。

まず代表取締役社長、福原俊晴様でございます。続きまして常務取締役、富澤政信様でございます。続きまして取締役、渡辺桂様でございます。続きまして取締役、三浦裕二様でございます。

本日はこの後、福原社長様からご説明をいただきます。ご説明終了後に質疑応答の時間を設けておりますので、どうぞよろしくお願いを申し上げます。

福原：距離を取らせていただいておりますので、マスクを外させていただきます。おはようございます。代表取締役社長の福原俊晴でございます。

本日は、昨今の新型コロナウイルスの状況下の中、当社の決算説明会にご参加いただき、誠にありがとうございます。前回の説明会は中止になりましたので、こうして皆さんの前でお話しするのは 1 年ぶりになります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



【売上高】

■ 第1四半期

- 緊急事態宣言発出により利用控えが発生しデイサービスは売上減。
- 訪問入浴をはじめとする訪問系サービスはコロナの影響はなく前年同期を上回る。
- エンゼルケアサービスのコロナの影響は軽微で前年同期並み水準で推移。

■ 第2四半期

- デイサービスは徐々に回復傾向を示す。他既存事業は前年同期を上回る推移。

【営業利益】

■ 前年同期並みに利益水準を確保。

- 各事業のオペレーション見直し。
- 本社共通部門の効率化による労務費削減。
- コストコントロール（材料費、消耗品、水道光熱費）の徹底。

それでは2021年3月期第2四半期連結決算の概要について、ご説明申し上げます。

4ページをお願いいたします。はじめに第2四半期決算のサマリーをご説明いたします。

まずは売上高です。第1四半期は緊急事態宣言の利用控えにより、デイサービスの売上が影響を受けましたが、一方で訪問入浴や訪問介護、訪問看護の訪問系サービスは影響をほとんど受けておりませんでした。第2四半期ではデイサービスの売上也徐々に回復し、その他の既存事業では売上が前年第2四半期を上回りました。

続きまして営業利益でございますが、各事業のオペレーションの見直し、本社共通部門の効率化と労務費削減、販管費のコストコントロールを行い、前年同期並みの営業利益水準での着地となりました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

- 【売上高】 : 対前年同期比 8.5%減収
- 【営業利益】 : 同 1.2%増益
- 【経常利益】 : 同 4.1%増益
- 【四半期純利益】 : 同 0.9%増益

(百万円)	2020年3月期2Q (連結)		2021年3月期2Q (連結)		対前年同期比	
	実績	構成比	実績	構成比	増減額	増減率
売上高	4,602	100.0%	4,210	100.0%	△392	△8.5%
※フォーライフ除く売上高	※4,274		4,210		△64	△1.4%
売上総利益	568	12.4%	496	11.8%	△71	△12.6%
販売費及び一般管理費	478	10.4%	406	9.6%	△72	△15.2%
営業利益	89	1.9%	90	2.2%	1	1.2%
経常利益	93	2.0%	96	2.3%	3	4.1%
親会社株主に帰属する四半期純利益	52	1.1%	52	1.3%	0	0.9%

Copyright (c) Care Service CO.,LTD. All rights reserved.

5

5 ページをお願いいたします。決算概要でございます。

売上高 42 億 1,000 万円、前年同期比マイナス 3 億 9,200 万、8.5%の減収。営業利益 9,000 万円、プラス 100 万円、1.2%の増益。経常利益 9,600 万円、プラス 300 万円、4.1%の増益。親会社株主に帰属する四半期純利益 5,200 万円、プラスゼロ百万円、0.9%の増益となりました。

2019 年 12 月にサービス付き高齢者向け住宅のフォーライフ事業を売却したことにより、前年同期比では大きな減収となりました。スライドに記載しておりますが、フォーライフ事業を除いた売上高では、前年同期比マイナス 1.4%の減収となっております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

サービス付き高齢者向け住宅（フォーライフ）事業譲渡に伴い、
セグメントを変更

■ 旧セグメント

セグメント区分	所属サービス	子会社
介護事業	デイサービス、訪問入浴、訪問介護、 配食サービス、訪問看護、居宅介護支援、 福祉用具貸与・販売、小規模多機能型居宅介護	ひだまり、ヒューマンキャピタル、 上海福原一介護
エンゼルケア事業	エンゼルケア、クリーンサービス、 シニア向け施設紹介	上海福原一エンゼルケア
サービス付き 高齢者向け住宅事業	サービス付き高齢者向け住宅サービス (フォーライフ)	

■ 新セグメント ※2020.4.1より変更

セグメント区分	所属サービス	子会社
在宅介護サービス 事業	デイサービス、訪問入浴、訪問介護、 配食サービス、訪問看護、居宅介護支援、 福祉用具貸与・販売、小規模多機能型居宅介護	ひだまり
シニア向け 総合サービス事業	エンゼルケア、クリーンサービス、 シニア向けサービス	ヒューマンキャピタル、上海福原

Copyright (c) Care Service CO.,LTD. All rights reserved.

6

6 ページをお願いいたします。セグメント区分の変更についてご説明いたします。

フォーライフ事業の売却に伴い、今期 2021 年 3 月期より在宅介護サービスとシニア向け総合サービスの二つの事業セグメントに変更いたしました。ご確認をお願いいたします。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

- 在宅介護サービス : 対前年同期比 1.4%減収 17.0%減益
- シニア向け総合サービス : 対前年同期比 1.9%減収 10.3%増益

(百万円)	2020年3月期2Q(連結)		2021年3月期2Q(連結)		対前年同期比	
	実績	対売上比	実績	対売上比	増減額	増減率
売上高	4,602	100.0%	4,210	100.0%	△392	△8.5%
在宅介護サービス	3,266	71.5%	3,221	76.5%	△45	△1.4%
シニア向け総合サービス	1,008	21.3%	988	23.5%	△19	△1.9%
フォーライフ	327	7.1%	—	—	△327	△100.0%
セグメント利益	499	10.8%	443	10.5%	△55	△11.1%
在宅介護サービス	350	10.7%	290	9.0%	△59	△17.0%
シニア向け総合サービス	138	13.8%	152	15.5%	14	10.3%
フォーライフ	10	3.1%	—	—	△10	△100.0%
調整額	△409	△8.9%	△353	△8.4%	56	13.8
営業利益	89	1.9%	90	2.2%	1	1.2

※2020.4.1よりセグメント区分を変更、変更後のセグメント区分で比較

Copyright (c) Care Service CO.,LTD. All rights reserved.

7

7 ページをご覧ください。事業別の業績の概要です。

売上高と利益を事業セグメント別にご報告いたします。まず在宅介護サービスですが、売上高 32 億 2,100 万円、前年同期比マイナス 4,500 万円、1.4%の減収。セグメント利益 2 億 9,000 万円、マイナス 5,900 万円、17.0%の減益。次にシニア向け総合サービスですが、売上高 9 億 8,800 万円、マイナス 1,900 万円、1.9%の減収。セグメント利益 1 億 5,200 万円、プラス 1,400 万円、10.3%の増益となりました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

【売上高】

■ 在宅介護サービス 売上高3,221百万円 前年同期比 1.4%減収

- ▶ 通所（デイサービス）：4月～5月は前年同期比約20%減収

（※P9参照）

6月より徐々に回復を示し、9月は前年同期並みに回復。

- ▶ 訪問（介護、看護、入浴）：重度の方の受け皿、通所の補完需要など堅調に推移。

（※P10参照）

■ シニア向け総合サービス 売上高988百万円 前年同期比 1.9%減収

- ▶ エンゼルケアは単価・件数に影響なく、クリーンサービスは7月以降好調に推移。

（※P11参照）

■ その他

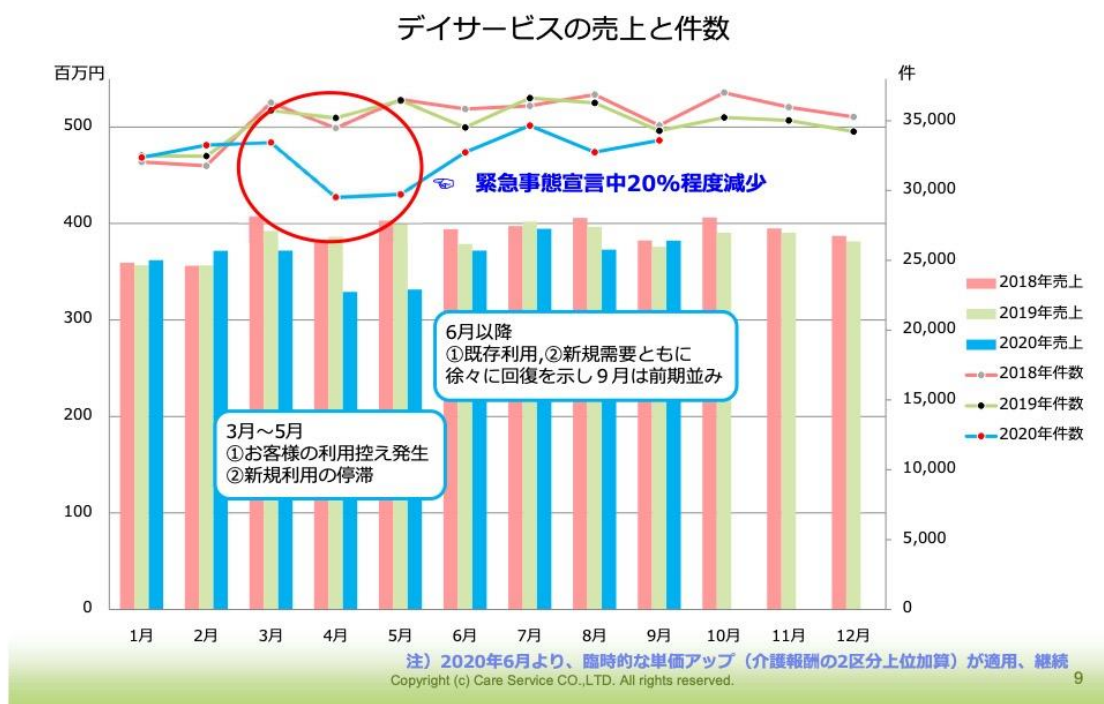
- ▶ 前期フォーライフ事業売却による3.2億円減収（前期売上高7%相当）

続きまして、売上高と経費の概況についてご説明いたします。

各事業セグメントの売上高については、8ページにサマリーを掲載しておりますが、ここでは主要サービスでありますデイサービス、訪問入浴、エンゼルケアサービスの第2四半期までの推移についてご説明させていただきます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

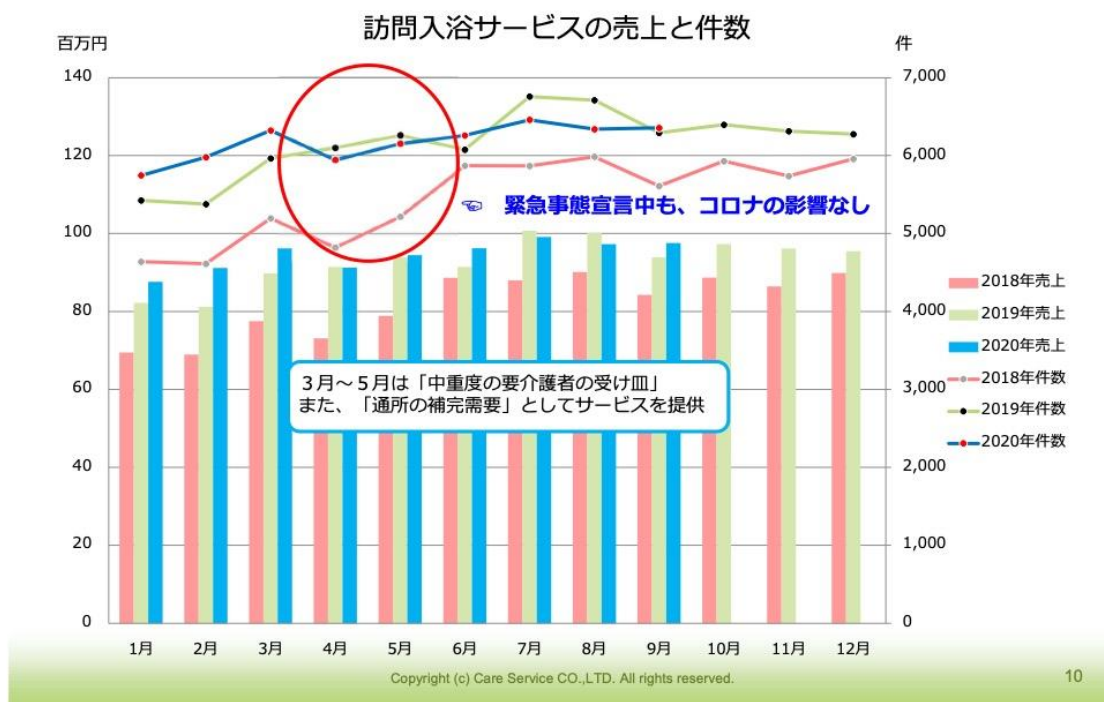


9 ページをお願いいたします。デイサービスの過去3年間の、月別の売上と件数の推移でございます。

棒グラフが売上高、折れ線グラフが件数を示しております。新型コロナウイルスの感染が国内で始まってから、緊急事態宣言が発令された2020年3月から5月までにおいて、既存のご利用者の利用控えとともに、ケアマネジャーへの営業活動に強い制限がかかっていたことにより、新規ご利用者の契約数が停滞いたしました。緊急事態宣言が解除された6月以降は既存・新規ともに徐々に回復し、9月には前年同期比並みに回復しております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

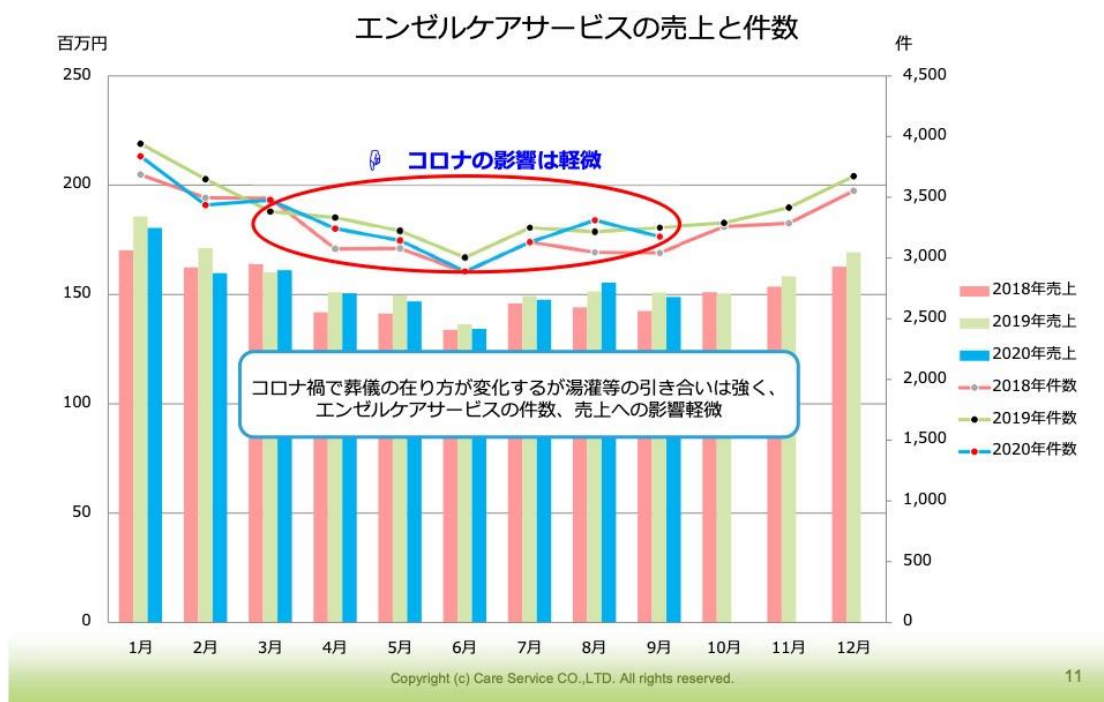


10 ページをお願いいたします。続いて訪問入浴サービスのデータをもとに、訪問系サービスの推移についてご説明したいと思います。

訪問系サービスでは、この3月から5月までの緊急事態宣言の期間で、売上・件数ともに大きな影響を受けませんでした。先ほど触れましたが、当社だけではなく、他社も含めたデイサービス全体で利用控えが続いた中、在宅で生活されている中重度の要介護者の方々に対して、訪問系サービスでは、ご利用者のQOLを大きく低下させないための受け皿となりました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



11 ページをお願いいたします。エンゼルケアサービスの売上件数の推移です。

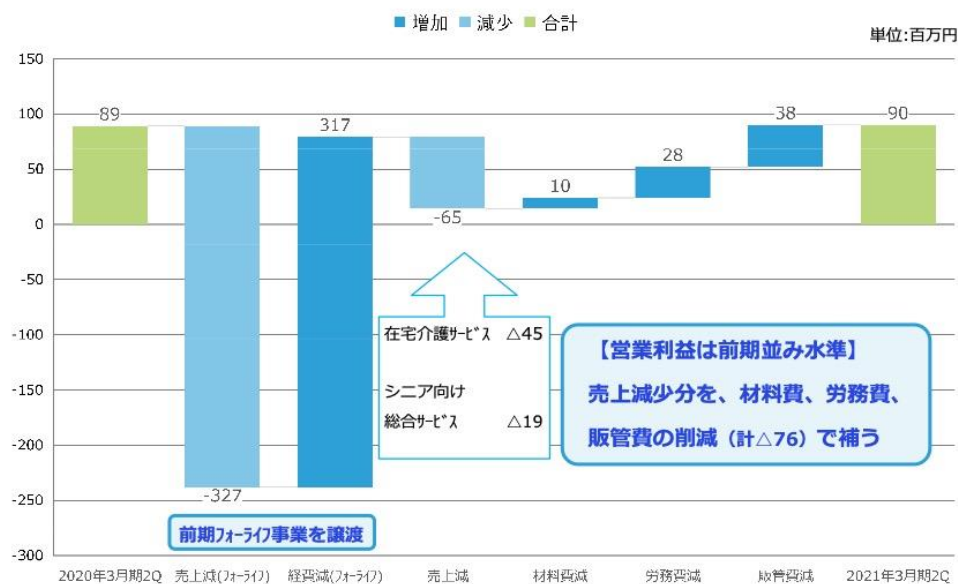
新型コロナウイルスの蔓延によって、葬儀の在り方や環境も大きく変わっています。現状は参列者の数も減少し、通夜・告別式と2日間に分けられていた葬儀形態も1日葬が増え、よりコンパクトな葬儀への傾向へと向かいつつあります。

しかし、当社が手掛けるエンゼルケアは、ご葬家から需要が非常に高く、そして、われわれのビジネスパートナーである葬儀社、互助会との連携をさらに強化したことで、売上、件数とも大きな影響を受けずに、乗り切ることができています。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

営業利益の増減分析



12 ページをお願いいたします。営業利益の増減分析です。

売上の減少分を材料費、労務費、販売管理費のコストコントロールで補いました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

2021年3月期 第2四半期末 貸借対照表概要

(百万円)	2020年3月期末		2021年3月期2Q末		対前期末比 増減額
	実績	構成比	実績	構成比	
流動資産	2,359	73.4%	2,797	77.3%	438
現金・預金	957	29.8%	1,375	38.0%	418
売掛金	1,313	40.9%	1,339	37.0%	26
固定資産	853	26.6%	819	22.7%	△34
有形固定資産	248	7.8%	258	7.1%	9
無形固定資産	224	7.0%	194	5.4%	△30
投資その他の資産	379	11.8%	366	10.1%	△13
資産合計	3,213	100.0%	3,617	100.0%	404
流動負債	1,079	33.6%	1,501	41.5%	421
買掛金	145	4.5%	151	4.2%	5
短期借入金 (※)	—	—	500	13.8%	500
1年以内の返済予定長期借入金	207	6.5%	156	4.3%	△51
未払費用	281	8.8%	284	7.9%	3
固定負債	437	13.6%	396	11.0%	△40
長期借入金	187	5.8%	125	3.5%	△62
負債合計	1,516	47.2%	1,897	52.5%	380
株主資本	1,704	53.0%	1,730	47.8%	26
資本金	205	6.4%	205	5.7%	0
資本剰余金	138	4.3%	138	3.8%	0
利益剰余金	1,509	47.0%	1,535	42.4%	26
自己株式	△148	△4.6%	△148	△4.1%	0
その他の包括利益累計額	△7	△0.2%	△10	△0.3%	△2
純資産合計	1,696	52.8%	1,719	47.5%	23
負債・純資産合計	3,213	100.0%	3,617	100.0%	404

※2020年4月に8億円を借入れ、一部返済開始

【ご参考】自己資本比率の推移

2020年3月期末	52.8%
2021年3月期2Q末	47.5%

13 ページをお願いいたします。貸借対照表の概要です。

資産合計 36 億 1,700 万円、前期末比 4 億 400 万円の増加。負債合計 18 億 9,700 万円、3 億 8,000 万円の増加。純資産合計 17 億 1,900 万円、2,300 万円の増加。

2020 年 4 月に、新型コロナウイルスの感染拡大の長期化に備えて、手元資金を厚くすることを目的に、銀行から計 8 億円の借入を行ったことにより、現金・預金および短期借入金が増加いたしました。

なお、こちらの借入につきましては、財務状況を勘案しつつ、第 2 四半期から一部返済を開始しております。第 2 四半期末での自己資本比率は 47.5% となり、対前期末と比較して 5.3 ポイントの低下となりました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

2021年3月期 第2四半期末（累計）キャッシュ・フロー計算書概要



(百万円)	2020年3月期 2Q (連結) 実績	2021年3月期 2Q (連結) 実績	対前年同期比 増減額
税引前四半期純利益	93	96	3
減価償却費	51	55	3
のれん償却額	5	10	5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	7	△ 17	△ 25
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	11	8	△ 3
売上債権の増減額 (△は増加)	△ 55	△ 26	29
その他の資産の増減額 (△は増加)	3	7	4
仕入債務の増減額 (△は減少)	14	5	△ 8
未払金の増減額 (△は減少)	△ 104	△ 21	82
未払費用の増減額 (△は減少)	19	3	△ 15
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△ 14	△ 43	△ 28
その他の負債の増減額 (△は減少)	0	15	15
利息の支払額	0	△ 2	△ 1
法人税等の支払額	△ 66	△ 6	59
営業活動によるキャッシュ・フロー合計	△ 46	87	134
有形固定資産の取得による支出	△ 9	△ 5	4
無形固定資産の取得による支出	△ 1	△ 2	△ 1
長期前払費用の取得による支出	△ 2	△ 1	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△ 23	0	23
投資活動によるキャッシュ・フロー合計	△ 33	△ 5	27
短期借入金の純増減額 (△は減少)	0	500	500
長期借入れによる収入	200	0	△ 200
長期借入金の返済による支出	△ 134	△ 113	20
配当金の支払額	△ 25	△ 26	△ 1
リース債務の返済による支出	△ 15	△ 19	△ 4
財務活動によるキャッシュ・フロー合計	24	340	315
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△ 3	△ 2
現金及び現金同等物の増減額	△ 55	418	474
現金及び現金同等物の期首残高	768	957	188
現金及び現金同等物の四半期末残高	713	1,375	662

Copyright (c) Care Service CO.,LTD. All rights reserved.

14

14 ページをお願いいたします。キャッシュ・フロー計算書の概要です。

営業活動によるキャッシュ・フローはプラス 8,700 万円、前年同期比 1 億 3,400 万円の増加。投資活動によるキャッシュ・フローはマイナス 500 万円、2,700 万円の増加。財務活動によるキャッシュ・フローはプラス 3 億 4,000 万円、3 億 1,500 万円の増加。現金及び現金同等物の四半期末残高は 13 億 7,500 万円と、前年同期比で 6 億 6,200 万円の増加となりました。こちらは先ほど申し上げた短期借入金により、大きく増加しております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



事業別事業所数・人員数の推移（連結）

■ 事業別事業所数の推移

(事業所数)	2020年3月期 期末				2021年3月期 2Q末				対前期末 比 増減数
	新規・ 増店	統合・ 移転	閉店	期末 事業所数	新規・ 増店	統合・ 移転	閉店	2Q末 事業所数	
在宅介護サービス事業	5	0	0	81	0	△ 1	0	80	△ 1
デイサービス（通所介護サービス）	0	0	0	46	0	△ 1	0	45	△ 1
訪問入浴サービス	0	0	0	14	0	0	0	14	0
その他サービス	5	0	0	21	0	0	0	21	0
シニア向け総合サービス事業	1	0	0	25	0	0	△ 1	24	△ 1
子会社 - ヒューマンキャピタル	0	0	0	1	0	0	0	1	0
子会社 - 上海福原	0	0	0	4	0	0	0	4	0

■ 事業別従業員数の推移

(人員数)	2020年3月期 2Q末	2021年3月期 2Q末	対前年同期比 増減数
在宅介護サービス事業	1,086	1,101	15
シニア向け総合サービス事業	295	296	1
合計	1,381	1,397	16

※数値にはパート従業員を含む

2021年3月期 2Q 新規出店・増店

統合による閉鎖

- デイサービス西荻窪【2020年4月】

閉鎖

- エンゼルケア米沢【2020年9月】

15 ページをお願いいたします。連結での事業所数・人員数の推移です。

事業所数の推移ですが、2020年4月に杉並区のデイサービス西荻窪が統合による閉鎖。2020年9月に山形県のエンゼルケア米沢を閉鎖し、在宅介護サービス、シニア向け総合サービスとも、各1事業所が減少いたしました。

従業員数の推移でございますが、16名の増加となりました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

コロナ感染症の影響

- 感染が拡大した3月～5月よりデイサービスでの利用控えが発生
- 第2四半期累計3事業所でお客様が新型コロナウイルスに感染、一定期間の営業休止

対応・対策

- 保健所等との連携などにより安全な対応ノウハウ（感染防止策・緊急対応）を蓄積
- コントロールが困難な外的リスクではあるが、各事業で防止対策を推進し影響を極小化

対策の一例

アクリル板による
飛沫感染予防



デイサービス
朝の送迎時乗車前検温



抗菌・抗ウイルスフィルター
(ラフエイト) の設置



アルコール消毒



入社時入室前の検温



感染拡大を極小化することで、お客様、ご家族、ケアマネジャーからも
安心していただける体制で、必要不可欠な方々への介護サービスを提供

Copyright (c) Care Service CO.,LTD. All rights reserved.

17

続きまして、2021年3月期の現在までのトピックスをご説明いたします。17ページをお願いいたします。今回の新型コロナウイルスに関する当社の対策について、まずお話しいたします。

ホームページにて開示しておりますが、当社におきましても、これまで複数の自社のデイサービスにおきまして、新型コロナウイルスの陽性者を確認し、一定期間の営業の休止を行っております。当社のような在宅介護、特にデイサービスにつきましては多くの方々が行き交い、集まる場所です。われわれも介護サービスを提供する以上、3密になることは避けられません。

また、感染経路の特定を行うことは、現実的にはかなり難しい状況ではあります。しかし、在宅介護の事業者である以上、ご利用者のQOL低下を極力防ぎ、ご本人とご家族に、これまでどおり日常生活を送っていただくことがわれわれ介護事業者の使命であると考えております。

従いまして、新型コロナウイルスに関する感染拡大リスクを極小化することで、ご利用者や関係者の皆様に、安心していただける体制を取り続けてまいりたいと考えております。

行政や保健所と随時連携を図り、情報共有とともに、対応に関するノウハウを蓄積しながらスライドに記載されているような衛生用品の設置と、スタッフ・お客様への周知・実践を進めております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

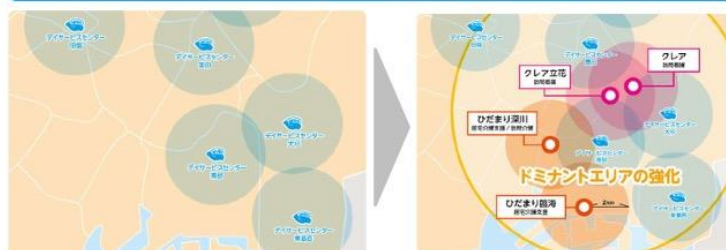
2020年10月 株式会社ひだまりを吸収合併

- 営業・管理体制の一元化による事業運営の効率化、管理体制の強化

2020年11月 株式会社広域社会福祉会の訪問介護事業の譲受

- サービスラインナップ拡充、ドミナントエリア（大田区蒲田）における更なる市場シェア拡大

「ドミナント×サービス」のパッケージ化



城東地区の事例

既存のドミナントエリアに訪問介護、訪問看護、居宅支援を組み込むことでサービスの拡充。より地域に沿った在宅介護サービスを自社内で提供

Copyright (c) Care Service CO.,LTD. All rights reserved.

18

18 ページをお願いいたします。当社が都内で展開しているデイサービスのドミナントエリアに訪問系サービスを加えて、ドミナント×サービスのパッケージ化を進めております。

デイサービスを中心としたエリアで、訪問介護、訪問看護、福祉用具貸与などの自社サービスを組み入れていくことで、当社を中心としたサービス提供ができるように事業基盤を再構築しております。最終的には、その各ドミナントエリアでのケアサービスのお客様とプランのシェア最大化を目標といたします。

スライドに示されているのは、直近年度で譲り受けた事例になります。ひだまりは江東区、株式会社広域社会福祉会の訪問介護事業は大田区に拠点を構えており、近隣に当社のデイサービスが複数隣接しているエリアです。

もちろん、自社による事業成長が第一にはなりますが、これらの事例のように既存事業の M&A につきまちは案件の中身を精査し、タイミングと価格が合うのであれば、実行することを選択肢として常に持っておきたいと考えております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

既存介護事業を基盤とした周辺領域での新サービスの現況

■ シニア向け施設紹介サービス

- 緊急事態宣言発出など施設への訪問・見学の制限により紹介中断
- 宣言解除後、訪問・見学の再開ペースは緩やかで、引き続き減少



▲住まいの架け橋サービスページ
 (<https://www.care.co.jp/sk/>)

■ 衛生分野のサービス拡充

- ウイルス除去商材の充実、施設などの空間ウイルス除去サービスを拡充
- 介護施設、教育関連施設などでの需要の高まりにより、販売拡大



▲ラフエイド商品紹介ページ
 (<https://www.care.co.jp/la/>)

19 ページをお願いいたします。国内の新規事業の現況についてご説明いたします。

まず 2019 年 7 月に開始いたしましたシニア向け施設紹介サービスでございますが、こちらは新型コロナウイルスの影響を受けております。緊急事態宣言期間中の施設訪問、見学の制限により、引き合い数の減少と進捗の遅れが発生しております。宣言の解除後、徐々に訪問・見学が再開しておりますが、コロナ前と比較するとまだまだ緩やかな状況です。

また、今期より衛生分野のサービス拡充を進めております。新型コロナウイルスに限らず、介護施設内のウイルス除去、空気の清浄に関する商材サービスの提供とウイルス除去・清掃サービスを手掛け、介護をはじめ教育関連の施設などへの販売を開始しております。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com

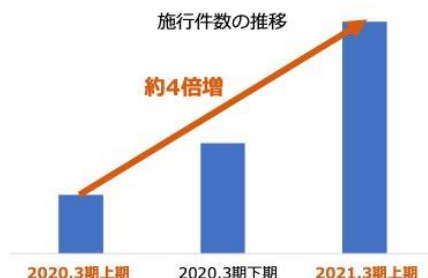
中国事業（上海福原）

■ エンゼルケアサービスの着実な事業成長

- 2020年2月～4月においてコロナ拡大により施行件数は一時的に減少したが、前年同期比で約4倍増



「エンゼルケア松江」で
 湯灌サービスのお客様より
 感謝の意として錦の旗
 を寄贈いただきました



- ✓ 中国でのエンゼルケアサービスの認知の高まりによる需要増を取り込み成長加速

ヒューマンキャピタル

■ コロナ禍での外部環境の変化により対応を迫られ苦戦

- 4月の緊急事態宣言下以降、選考プロセスの遅延と一部採用側ニーズが変化
- マーケティング等強化、人員体制の再構築を進めたが、営業赤字

- ✓ 将来において介護人材に関する需要は引き続き高く、早期に収益化を図る

Copyright (c) Care Service CO.,LTD. All rights reserved.

20

20 ページをお願いいたします。子会社のトピックスについてお話しいたします。

まずは海外、中国の上海市にあります上海福原についてご説明いたします。上海福原のエンゼルケアサービスにおいて、知名度の高まりによる需要の増加を取り込み、加速的な成長を遂げております。

新型コロナウイルスの発生によって、2020年2月から4月において、上海市内の葬儀場の機能は停止。一時的にエンゼルケアの施工件数は減少いたしました。それでも4月から9月までの上期における施工件数は前年同期比で4倍となっており、着実な事業成長を見せました。

続いて、人材事業子会社のケアサービスヒューマンキャピタルです。現在、介護職の人材紹介事業を手掛けておりますが、こちらも新型コロナウイルスの影響を受けております。緊急事態宣言を境に、介護職の採用環境は大きく変わっています。

これは当社ケアサービスでも同様ですが、介護職の離職率が大きく下がったことと、求職者が増加したことで、われわれ介護事業者側は端的に申し上げますと、採用にお金を使わずにじっくり時間をかけて見極めることができるようになりました。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

また、コロナ禍での状況による選考プロセスの遅延などが計画に傾向として見られるようになり、ウェブマーケティング手法や人員体制の見直しを行いました。人材紹介事業につきましては、上期は赤字となりました。

しかし介護業界につきましては、人材が長期的な経営課題となることは疑いのないことですので、この新型コロナ禍における事業の再構築を早期に取り組み、再び採用環境が激しさを戻したときに、攻勢を打てるように準備してまいります。

2021年3月期 業績予想・配当予想について



2021年3月期連結業績予想

下期において、感染再拡大による各事業への影響や、経済活動の回復の遅れなどが懸念されることから、2020年8月5日付「業績予想に関するお知らせ」にて公表いたしました通期業績予想数値から変更はありません。

今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関して修正の必要が生じた場合、速やかに開示する予定です。

2021年3月期 配当予想

当第2四半期連結累計期間の経常利益は対前年同期比+4.1%であることと、安定的な配当を実施するという基本方針を基に、期末配当予想を7.00円（前期同額）とさせていただきます。

22 ページをお願いいたします。最後に、当社の今期の連結業績と、配当の見通しについてお話しさせていただきます。

決算短信にてご確認いただけますが、当第2四半期連結累計期間の業績において、既に営業利益、経常利益、親会社株式に帰属する四半期純利益が通期業績予想を上回っております。

しかし下期において、新型コロナウイルスの再拡大による各事業への影響や、日本全体の経済活動の回復が遅れる可能性が懸念されることから、現段階につきましては変更を行いません。引き続き、検討を進めます。修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定です。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



また第2四半期決算の発表の同日に、2021年3月期の配当予想を開示しております。緊急事態宣言の解除以降、業績が回復基調となっていることから、安定的な配当の実施という当社の基本方針をもとに、一株当たり7円の配当予想を発表いたしました。

以上で、本日のご説明を終了させていただきます。ご清聴、誠にありがとうございました。

司会：ご説明ありがとうございました。

サポート

日本	03-4405-3160	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com



質疑応答

司会： それでは、この後は質疑応答の時間に入らせていただきます。この説明会は質疑応答部分も含めまして、全文を書き起こして公開の予定でございます。従いまして質問の際、会社名・氏名を名乗られた場合はそのまま公開でございますのでよろしくお願いいたします。もし匿名を希望される場合は質問の際、氏名を名乗らないようによろしくお願いいたします。 それでは質問のある方、いかがでしょうか。

キタミ： ご説明ありがとうございます。SMBC 日興証券の北見と申します。

質問を3点ほど教えていただきたいんですけども。一つ目は、上半期の業績で訪問入浴サービスのところなんですけれども。先ほどおっしゃっていただいたように在宅の中重度のところのQOLを下げないためにという、こういうことなんですけども。他社さんなんか見ていると上半期、在宅訪問入浴、わりと堅調なところが多いんですけど。私の知識が浅いせいもあるのですが、この間いわゆる行政サイドから、なるべく手厚いケアをしてくれみたいな指導があったりとか、厚生労働省の方で、規制緩和みたいなのがあったのかどうかということを確認させていただければ、というのが一つ目ですね。

二つ目は、先ほどおっしゃったデイサービスなんかも、9月ぐらいにもう前年同期並みに回復してきているということなんですけども。また、コロナの感染再拡大が出てきている中で、現場の感覚としては、また感染が広がってくるよとやっぱり手控えちゃうユーザーの方とか利用者の方が増えるのか。いや、やっぱりあまりやらないと介護度も上がってしまう、老化も進んでしまうということも学んできて、いろいろ工夫しながら出てくるような今、状況だろうとは思いますが。感染が拡大しても、またグッと減ってしまうような感じではなくて、多少様子を見ながらでも利用者は増えていくという横ばいにはキープできる、そのようなイメージを持っておけばいいのかという、これが二つ目でございますね。

三つ目ですが、上海の話なんですけれども。春先はコロナの影響があったというお話ですけども、前年同期比の件数で4倍ということで。ここ数年、まだ母数が少ないながら高い伸びが続いているという中で、現地の方の利用の、いわゆるエンゼルケアに対する知識の普及度合いだったりとか。もっと利用していこうという、今どんな利用者のモメンタムになっているのかを、手触り感覚みたいなので結構なので教えていただければということで、この三つでよろしくお願いいたします。

三浦： それでは私、三浦よりご回答させていただきます。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



まずは1点目、ご質問いただきました訪問系サービスについての状況でございますが、まず通所系のサービスとは違って、訪問系というのが比較的一対一のサービスという形態が多いので、利用控えというものが無い状況でございました。一方、通所系が利用控えがあったという現象がありまして。訪問系のサービスで代替のサービスを継続してほしいという各行政さんからのお願いはございました。当社におきましては感染予防を最大限対応しまして、訪問サービスを継続したという状況でございます。

続きまして、2点目のご質問。今後のコロナウイルス、さらに拡大した場合というところなのですが、やはり先ほど説明もさせていただきましたけども、利用を控える期間が長引くとどういった現象が起きるかという、QOL、もっと細かくいいますとADL。日常生活動作の低下、認知症状の悪化という症状が出ております。ですので、第3波と言われている現象が起きたとしてもある程度横ばい、あまり利用を控えてしまうと違う問題が生じてくるということがわかっておりますので、大きな利用控えはないと考えております。

富澤：それでは上海の方に関しましては、担当の私、富澤からお答えさせていただきます。

主には二つなんですけれども、まず知名度が上がったのは事実でございます。それともう一つ大きな要因になったのが、中国の方にもわかりやすくサービスメニューの細分化。それをしたことにより、今まで以上に浸透度合いと、わかりやすさが上海の皆様にも伝わったと思っております。それでこのような結果になったと分析しております。以上でございます。

司会：よろしいでしょうか。ありがとうございました。他にご質問等、いかがでございましょうか。

それでは質問がないようでございますので、以上を持ちまして本日の決算説明会、終了でございます。どうもお疲れさまでございました。ありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所については[音声不明瞭]と記載

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptasia.com



免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本 03-4405-3160 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

